別添1（1）

指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名　　：　福岡県国際文化情報センター

２　指 定 管 理 者　　：　公益財団法人　アクロス福岡

３　指　定　期　間　　：　令和３年４月１日～令和８年３月３１日

４　施 設 設 置 目 的　　：　県民に文化の創造と享受の場を提供するとともに、国際的な文化、情報の総合的交流拠点とし、もって県民の生活と文化の向上に寄与する。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

（１）点　検　方　法　　：　事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果　　：　別添のとおり

別添1（2）

1　管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・当施設の設置目的を踏まえ、県の文化振興施策に沿った事業展開や安全快適な施設の維持など、更なる利用者サービスの向上に努める。	・県の文化振興施策に沿った事業を展開し、施設運営では安全管理の徹底と利便性の向上を図り、窓口サービスや接客マナーの向上など利用者の立場に立った一層のサービス向上に努めている。 ・九州障害者アートサポートセンターと協働した文化芸術活動の支援や、障がいのある人の文化芸術活動の支援など、あらゆる人が等しく文化芸術を享受できる環境整備に努めている。
②施設利用及びサービス向上	・施設サービス（貸館）事業では、総合的なサービス強化や、ニーズの把握、営業誘致の強化を通して施設利用を促進する。 （目標施設稼働率　80.0%） ・文化振興事業では、あらゆる人が等しく文化芸術を享受できる環境を整備する。 （目標入場者数　160,000人） （目標事業数　90事業） ・情報提供事業では、県内各地の魅力発信を行う。 （匠ギャラリー来場者数　150,000人）	○施設サービス（貸館）事業では、施設稼働率は回復傾向にあるが、一部施設ではコロナ禍前の水準には戻っておらず、施設稼働率は対前年度比で減少しているが、利用者数は対前年度比増となっている。 ・利用者数　：557,936人　（対前年度+4.3%、対R1年度△22.8%） ・施設稼働率：　65.6%　（対前年度△0.8ポイント、対R1年度△6.5ポイント） ○文化振興事業では、質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会を県民に提供した。 ・アクロス福岡開館３０周年記念事業の集大成として、「アクロス・バースデーコンサート」を実施した。 ・「福岡ジュニアオーケストラ」「学校キャラバン」など青少年を対象とした育成事業に幅広く取り組んだ。また、県のアーティスト・イン・レジデンス事業と連携して、「未来につなぐコンサート」を実施した。 ・音楽を通した社会包摂への取組として、「劇場って楽しい！！2025in大刀洗」を市町村と連携して初めて開催した。また、子ども食堂の運営法人や支援団体と連携して、「みんなのクリスマスコンサート」を実施した。 ・様々な人が文化を享受できる環境づくりとして、里親家族を対象とした「アクロスこども文化芸術体験」において、ボランティアや学生の事業参画に取り組み、「令和７年度ふくおか共助社会づくり表彰」を受賞した。 ・入場者数：116,063人（対前年度△2.1%、対R1年度△30.2%） ・事業数　：　79事業（対前年度△7事業、対R1年度+2事業） ○情報提供事業では、匠ギャラリーにおいて、伝統工芸品の企画展や地域の伝統文化を中心とした講座を開催するとともに、併設するカフェ及びショップで地域の食と文化を発信した。 ・匠ギャラリー来場者数：265,104人（対前年度△0.3%、対R1年度+217.6%）
③経営（収支）改善	・実施目的を明確にして事業を行い、事業・経営の評価を定期的に行うことで、効率的な運営を目指す。	・景気に左右されにくい学会、国際会議等の誘致に取り組むほか、国際会議場、大会議室、中小会議室の施設見学会を実施するなど、施設の利用促進に取り組んでいる。 ・県委託料（指定管理料）：342,895千円（対前年度△10.5%、対R1年度+20.8%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	・施設の管理運営や各事業を着実に実施するための人材、職員体制を確保する。 ・経営効率化を進め、財政基盤を強化する。	・専門性を備えた人材を確保し、施設の管理運営、文化振興事業等の確実な実施に必要な組織体制である。 ・借入金がなく、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	・安全対策、危機管理対策の強化を図る。	・防火防災対策として、ビル管理会社と共同で火災・地震発生時の初動対応訓練を実施している。 ・日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向け、小グループによる防災研修などの取組を実施している。

2　点検結果

□ A＋（提案内容を上回った） ○ A　（提案内容をやや上回った） □ B　（概ね提案内容どおり） □ C　（提案内容をやや下回った） □ D　（提案内容を下回った）	【総合コメント】 ・県の文化振興施策を踏まえ、質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会を提供するとともに、青少年を対象とした育成事業に幅広く取り組んでいる。また、年齢や障がいの有無等に関わらずあらゆる人が等しく文化芸術を享受できるよう、様々な文化振興事業を展開している。 ・地域で様々な文化活動を行っている方々への発表の場の提供とともに、ホームページ等で伝統工芸品や演劇などの魅力を情報発信している。 ・施設稼働率及び文化振興事業の入場者数は前年度から減少したものの、施設利用者数は増加し、匠ギャラリー来場者数も前年度と同水準を維持している。また、市町村、子ども食堂、ボランティアや学生と連携した社会包摂の取組を積極的に推進している。